

平成 22 年度 教育課程編成にあたって

中 道徳

1 平成 22 年度に求められる取組

(1) 全体計画及び年間指導計画の作成

- ① 各学年段階にわたる一貫した重点内容（自立心、自律性、生命を尊重する心の育成）を明記した全体計画及び年間指導計画を作成する。
- ② 中学校段階の指導内容の重点化への配慮を指導計画上に一層明確化する。
①の共通の重点内容を押さえるとともに、規範意識の育成、社会参画への意欲や態度、国際社会に生きる日本人としての自覚などの内容を重点化して取り組む。
- ③ 学習指導要領に示されている内容項目は、いずれの学年においても指導しなければならないため、各学年の年間指導計画に 24 の内容項目をすべて組み込む。
- ④ 新出の内容項目が、該当学年の年間指導計画に入っているかどうかを確認する。

(2) 単元や教材の開発

先人の伝記や自然、伝統と文化などを題材とした魅力的な教材開発・活用を行う。ただし、現役のスポーツ選手など「人」を扱った教材開発や自作教材活用を行う場合については、教材としての適否を十分検討する。

(3) 配慮すべきこと

- ① 職場体験活動やボランティア活動などの体験活動を生かす。
- ② 道徳の時間の授業を公開するなど家庭や地域との連携の充実を図る。
- ③ 校内研修を充実させる。

2 教育課程編成上、参考となる取組例

(1) 道徳教育全体計画に校長の方針を明確に示した例

学校長の願い（「心底にふるさと愛」、「教員の指導力向上と学校の活性化」など）と基本姿勢（「率先垂範」、「凡事徹底」など）を明記した。

(2) 道徳教育推進教師が月ごとの重点項目・反省を提示し共通理解を図った例

職員会議で道徳部報「〇月の道徳」を提示、全学年が〇月の道徳の実践と反省を報告した。

(3) ワークショップ型研修会で全教師による全体計画を作成し、意識高揚を図った例

ワークショップ型研修を開き、全体計画、年間指導計画を学年ごとに見直し、各教科等の視点、道徳の時間と他の教育活動との関連等を踏まえた改善案を作成した。全教職員が計画の作成、改善にかかわったことで、道徳教育についての意識改革にもつながった。

3 教育課程編成上の Q&A

Q1 年間指導計画を作成する際の留意点は何か。

A1 道徳教育推進教師が中心となり、全体計画に示された重点目標を押さえ、学校として明記しておくべき項目を事前に十分検討し明確にする。全教師の創意工夫により、3年間を見通した重点指導や内容項目の関連を密にした指導が可能な計画を作成する。

Q2 年間指導計画に「心のノート」の活用を明記したい。今後の配布予定はどうなっているか。

A2 平成 22 年度は希望配布、平成 23 年度は web 版「心のノート」を配信予定である。

Q3 仙台市や宮城県で作成している著作物等で、道徳の資料として活用できるものはあるか。

A3 仙台市の人権資料「認め合う心」や宮城県人権教育指導資料の活用などが考えられる。

活用に当たっては、内容項目を明確にし、教科等との関連を押さえ年間指導計画に位置付ける。